

URBAN DESIGN VISION YOKOHAMA

横浜都市デザインビジョン
個々の暮らしと横浜を豊かにするための羅針盤
(案) 【概要版】

はじめに

個々の暮らしをより豊かにしようと取り組む主体的な活動と成果が、横浜の豊かさをつくり、再び個々の暮らしの豊かさへと還元されます。



横浜の都市デザインは横浜らしい豊かな風景をつくること

2 都市への着眼点

都市への着眼点は、都市の捉え方であり、風景に描き込む要素です。横浜の都市デザインにとっての風景は、目に見えるものだけを指すではありません。「空間」「営み」「感性」の3つの着眼点で風景を捉えます。



3 共有する価値

価値を共有することは、個々が想い描く風景とその実現のための活動に大きな方向性を与え、個々の活動が生き生きとする土台にもなります。5つの価値は、横浜がこれまで培ってきた価値であり、これからさらに高めていく価値です。

創造性

人々の気質や技術、企業活動や経済的活力、歴史的建造物や景観などの地域の特性が活かされ、個々の特徴が相互に関連し、社会の状況にあわせた先進的な価値を生んでいる、創造性のある風景

親近感

人と人、人と自然のふれあいなどの場や人々の生活・活動に呼応した快適な街並みが形成され、活発な人々の交流や活動があり、新たな人やものごととの出会いが生まれている、親近感のある風景

寛容性

世代や国籍などの人の特徴、様々な住まい方・働き方、それぞれの地域の特徴などが尊重され、人々による新たな挑戦・失敗を受け入れながら発展している、懐の深い、寛容性のある風景

有機的

人々の生活や企業・地域団体などの活動、公共施設や自然環境などの諸要素、都心部・郊外部・他都市などの多様な地域が密接に連携し、柔軟につながりながら全体として自律している、有機的な風景

物語性

地形、自然、街並み、暮らし、歴史、文化など、横浜の特徴を見出し、各地域や活動の文脈としてつないでいくことで、愛着や誇りが生まれ、奥行きのある風土が育まれている、物語性のある風景

1 横浜の都市デザインの基礎

これまで、横浜の都市デザインは、「魅力と個性のある人間的な都市の実現」という普遍的な理念のもとに、大小さまざまな取組により、多くの豊かな風景を横浜に生み出してきました。横浜は、より個々が都市デザインに取り組む主役となって、理念の実現を目指す段階に来ています。

横浜の都市デザイン活動とは

1. 個々が自分の豊かな暮らしの風景を思い描くことから始める
2. 横浜らしい豊かな風景とは何かを共有し、取り組む
3. 市全域で取り組む
4. 異なる領域を横断しながら取り組む
5. 長期的に捉えて取り組む

別章へ
(裏面)

4 取り組み方

想い描いた風景を実現するための活動には、様々な人が関わることが予想されます。その際、関わる個々が、その活動に対して、姿勢・視点・行動を考えて臨むことで、その活動は組織力と機動力を持ち、実現性のあるものとなります。

取り組み方を考える際のヒント

姿勢

:どういう立ち位置で臨むか

視点

:どこを重視するか

行動

:何をするか

5 都市デザイン行政の取組

姿勢

「舵取り」として日常化に臨む

個々が都市デザインに取り組む主役となり、個々の活動がより生き生きとしたものとなるよう、「舵取り」として幅広い側面から総合的に都市デザイン活動の日常化に臨みます。舵取りとしての取組と個々の活動とが互いに補完しあう関係となった時、各活動はより円滑かつ活発になり、都市デザイン活動が日常化された都市に近づきます。

視点

舵取りとして5つの視点を重視する

個々の活動の実現性が高まり、その成果がより豊かな風景を生み、横浜全体の豊かさへとつながるために、舵取りとしての5つの視点を重視します。

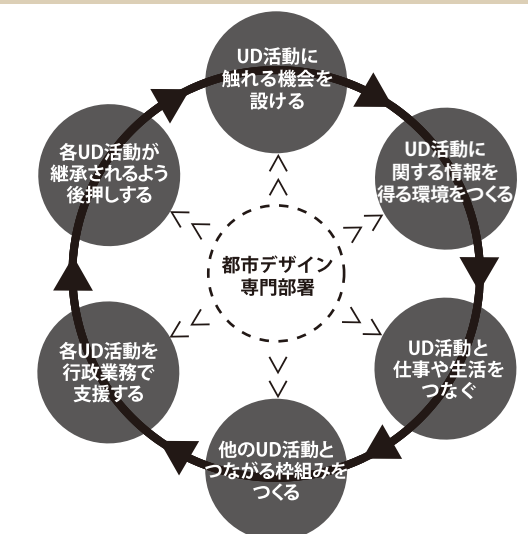
1. 都市全体を俯瞰する
2. 様々な要素をつなぐ
3. ものごとの本質をつきつめる
4. 持続的な効果をもたらす
5. 変化の余地をのこす

行動

日常化プロセスを組み立て、推し進める

個々が都市デザイン活動に取り組む始めるところから、想い描いた風景を実現し、長く豊かさを保持するものとなるまでを、6つの段階に分け、それらを都市デザイン活動の日常化プロセスとして組み立て、都市デザインの専門部署を中心に推進していきます。

※UD活動＝都市デザイン(Urban Design)活動



URBAN DESIGN VISION YOKOHAMA

横浜都市デザインビジョン
個々の暮らしと横浜を豊かにするための羅針盤
(案) 【概要版】

横浜の都市デザイン活動は、
風景を想い描くことから
始まります。

横浜らしい豊かな風景をつくる活動
は、自分の豊かな暮らしの風景を想
い描くことから始まります。

この別章は、都市デザイン活動を始
めるために個々が想い描いた風景や
他者と議論・共有した風景を綴じて
おくスケッチブックです。

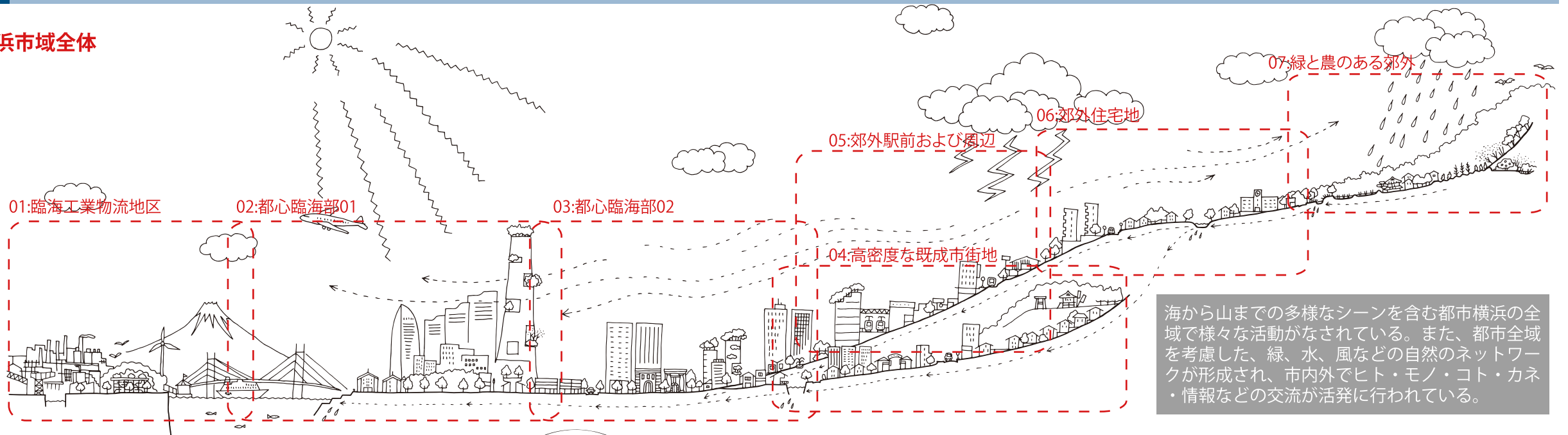
今既にあると想定する地形や建物は
描いてありますので、これを下絵に
様々な風景を思い浮かべて描き込ん
でみてください。

また、このスケッチブックを他者と
議論・共有するためのものとしても
使ってみてください。

そして、想い描いた風景の実現に向
けて、ぜひ取り組んでみてくださ
い。

別章 風景スケッチブック 描き込み例

00:横浜全域全体



01:臨海工業物流地区

利用されずに眠って
いた工業跡地が、土
地や建物の良さを活
かしながら活発に再
利用されている。



02:都心臨海部01

海から見た視点を意
識し、美しい港の景
観が創り出されてい
る。



03:都心臨海部02

様々な分野や職種の
人が住み、働くまち
として定着し、文
化・産業・教育が活
発なまちになっている。



04:高密度な既成市街地

災害対応力を高めつ
つ、坂道や路地、小
広場を魅力的に演出
するなど、下町らし
い風情も感じられる
まちづくりが進んで
いる。



05:郊外駅前および周辺

駅前に生活支援施設
や地域の人々が集え
る広場があり、店舗
などが出店し、豊か
なコミュニティが
生まれている。



06:郊外住宅地

都心で働く必要のな
い人が移住したり、
平日は都心で働く人
が週末利用する住居
として空家を利用し
ている。



07:緑と農のある郊外

大都市近郊の利点を
生かした農業が継承
され、新規就農者も
増えて定着してく
ている。

